

2020年オフィシャルソフトボール ルール改正点

資料1-1

(公財)日本ソフトボール協会 記録委員会

19年頁	R-SEC	2019年オフィシャル ルール	20年頁	R-SEC	2020年オフィシャル ルール
9	1-2項	アピールプレイ APPEAL PLAY アピールプレイは次の8つ場合である。 (7)不正再出場したとき	9	1-2項	アピールプレイ APPEAL PLAY アピールプレイは次の8つ場合である。 (7) <u>再出場違反があったとき</u>
16	1-40項	故意四球 INTENTIONAL BASE ON BALLS 【略】 (注1) 通告は投球とみなされ、四球を与えるのに必要な投球数がカウントされる。 【略】	16	1-40項	故意四球 INTENTIONAL BASE ON BALLS 【略】 (注1) <u>通告時、すでに投球した数だけを投球数に加える。</u> 【略】
37	3-5項	マスク・プロテクター・レガース・ヘルメット (注1) 捕手用ヘルメットはJSA検定マークが入っているものを着用することが望ましい。ただし、2020年度からはJSA検定マークが入っているものを着用しなければならない。 (注2) 捕手用マスクはSGマークが入っているものを着用することが望ましい。ただし、2019年度までを猶予期間とし、2020年度からSGマークが入っているものを着用しなければならない。	37	3-5項	マスク・プロテクター・レガース・ヘルメット (注1) 捕手用ヘルメットはJSA検定マークが入っているものを着用 <u>しなければならない。</u> (注2) 捕手用マスクはSGマークが入っているものを着用 <u>しなければならない。</u>
40	3-7項 4.	ユニフォーム 装飾品	40	3-7項 4. (1) (2) 5.	ユニフォーム <u>アンダーシャツ</u> (1) <u>プレイヤーのアンダーシャツは同色でなければならない。すべてのプレイヤーがアンダーシャツを着用することは必須ではないが、一人でもアンダーシャツを着用する場合は、他のプレイヤーは同色のものを使用しなければならない。また、どのプレイヤーも、露出したアンダーシャツの袖がほつれ、擦り切れたり、スリットの入ったものを着用してはならない。</u> (2) <u>アームスリーブ(脳の保護ガード)を着用する場合は、アンダーシャツの着用と同様のルールを適用し、両腕にアンダーシャツと同色のものを着用しなければならない。</u> (注)片腕のみの使用は禁止する 装飾品
53	5-3項 2.	正式の試合 延長試合 7回終了時、同点の場合は、8回からタイブレーカーにより試合を継続する。	53	5-3項 2.	正式の試合 延長試合 7回終了時、同点の場合は、8回から <u>タイブレーク</u> により試合を継続する。
55	6. (注)	没収試合 (注)没収試合の決定は、大会競技委員長・審判長・および当該審判員が協議して、球審が宣告する。(得点は7-0となる)	55	6. (注)	没収試合 (注)没収試合の決定は、大会競技委員長・審判長・および <u>担当</u> 審判員が協議して、球審が宣告する。(得点は7-0となる)
55	5-6項	タイブレーカー	55	5-6項	<u>タイブレーク</u>
62	6-5項 2.	異物の使用 【略】	62	6-5項 2.	異物の使用 【略】 (注) <u>アームスリーブは、3-7項4に規定されたアンダーシャツとみなし、両腕に着用し、アンダーシャツと同色であることを条件として着用することができる。</u>
69	7-1項 2.	次打者 次打者は次打者席内で待機しなければならない。なお、一塁側・三塁側どちらかの次打者席で待機してもよい。	69	7-1項 2.	次打者 次打者は次打者席内で待機しなければならない。なお、 <u>安全面を考慮し、打席にいる打者が右打者の場合は三塁側、左打者の場合は一塁側の次打者席で待機しなければならない。</u>

2020年オフィシャルソフトボール ルール改正点

資料1-1

(公財)日本ソフトボール協会 記録委員会

19年頁	R-SEC	2019年オフィシャル ルール	20年頁	R-SEC	2020年オフィシャル ルール
70	7-2項 (効果)2項 (2)	打撃の順序 不正位打者の打撃が完了し、次の打者に対して投球動作に入る前(正・不正にかかわらず)にアピールされたときは～	70	7-2項 (効果)2項 (2)	打撃の順序 不正位打者の打撃が完了し、次の打者に対して投球動作に入る前(<u>正しい投球・不正投球にかかわらず</u>)にアピールされたときは～
116	12-2項 2. (4)	ボックススコア 【略】 第4欄は、各プレイヤーの試合中の打席があれば、その数を記録する。ただし、代走で打席につかなかったプレイヤーには、0(ゼロ)をつける。	116	12-2項 2. (4)	ボックススコア 【略】 第4欄は、各プレイヤーの試合中の打席があれば、その数を記録する。ただし、代走 <u>等</u> で打席につかなかったプレイヤーには、0(ゼロ)をつける。
117	12-3項 1. (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16)	要約 【略】 (7) 打点を記録したプレイヤーの名前とその数。 (8) 犠牲フライを記録したプレイヤーの名前とその数。 (9) 犠牲バントの数。 (10) 盗塁を記録したプレイヤーの名前とその数。 (11) ダブルプレイに関与したプレイヤーの名前とその数。 (12) トリプルプレイに関与したプレイヤーの名前とその数。 (13) 残塁の数。(その打撃の結果、他の走者が第3アウトになった場合の打者走者を含む) (14) 失策の数。 【略】 【略】	117	12-3項 1. (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16)	要約 【略】 (7) 打点を記録した <u>プレイヤー</u> とその数。 (8) 犠牲フライを記録した <u>プレイヤー</u> とその数。 (9) 犠牲バントを <u>記録したプレイヤー</u> とその数。 (10) 盗塁を記録した <u>プレイヤー</u> とその数。 (11) ダブルプレイに関与した <u>プレイヤー</u> とその数。 (12) トリプルプレイに関与した <u>プレイヤー</u> とその数。 (13) <u>残塁を記録したプレイヤー</u> とその数。(その打撃の結果、他の走者が第3アウトになった場合の打者走者を含む) (14) 【削除】 (14) 【略】 (15) 【略】
119	12-5項 (注)	安打を記録しない (注) 記録員の判断で守備妨害がなくても安全に一塁に達することができたとは判断された場合は、打者に安打を与える。	119	12-5項 (注)	安打を記録しない (注) <u>公式</u> 記録員の判断で守備妨害がなくても安全に一塁に達することができたとは判断された場合は、打者に安打を与える。
126	12-19項	完全試合(パーフェクトゲーム) 「1人の走者」にはタイブレーカーの走者も含まれる。タイブレーカーに入った場合には完全試合の対象にならない。	126	12-19項	完全試合(パーフェクトゲーム) 「1人の走者」には <u>タイブレイク</u> の走者も含まれる。 <u>タイブレイク</u> に入った場合には完全試合の対象にならない。
127	12-20項 (注2)	無安打無得点試合(ノーヒット・ノーラン) (注2) 出塁する可能性のある走者は、四球(故意四球を含む)・死球・失策・野手選択・打撃妨害・一塁への走塁妨害・守備妨害・三振降り逃げおよびタイブレーカーの走者である。	126	12-20項 (注2)	無安打無得点試合(ノーヒット・ノーラン) (注2) 出塁する可能性のある走者は、四球(故意四球を含む)・死球・失策・野手選択・打撃妨害・一塁への走塁妨害・守備妨害・三振降り逃げおよび <u>タイブレイク</u> の走者である。

2020年オフィシャルソフトボール 競技者必携(記録の部)改正点

(公財)日本ソフトボール協会 記録委員会

1. (公財)日本ソフトボール協会記録委員会規則

19年頁	項	2019年 競技者必携	20年頁	項	2020年 競技者必携
128	第3条 2)	目的 記録員の養成指導を行う。	128	第3条 2)	目的 <u>公式</u> 記録員の養成指導を行う。

2. 公式記録員規程

19年頁	項	2019年 競技者必携	20年頁	項	2020年 競技者必携
130	第6条 2	公式記録員の登録 公式記録員に登録された者には、会長より支部所属長を通じてその年度のワッペンが交付される。ワッペンは左胸に佩用するものとする。	130	第6条 2 3	公式記録員の登録 公式記録員に登録された者には、会長より支部所属長を通じてその年度のワッペンが交付される。 ワッペンは左胸に佩用するものとする。 公式記録員はその年度のワッペンを携帯しなければ、すべての公式試合の記録員とは認められない。

3. 公式記録員手引

19年頁	項	2019年 競技者必携	20年頁	項	2020年 競技者必携
133	1. (2) ①	公式記録員の役割と心得 【略】 【略】 (7) 【一部略】 また、各球場には4名の記録員を配置する。	133	1. (2) ①	公式記録員の役割と心得 【略】 【略】 (7) 【一部略】 また、各球場には4名の <u>公式</u> 記録員を配置する。
134	(5) ① ⑥	記録員の心得について ① 記録員は公平であること。(以下略) ⑥ 試合開始1時間前には、主会場の記録員席で記録員全員によるクリニックを行うこと。	134	(5) ①	<u>公式</u> 記録員の心得について ① <u>公式</u> 記録員は公平であること。(以下略) 試合開始1時間前には、主会場の記録員席で <u>公式</u> 記録員全員によるクリニックを行うこと。
135	(6) ① 7) 4)	公式記録員は、次の服装と用具を調えること 服装について 7) 夏季は白シャツ(襟付き)、グレーのズボン(女性は黒でもよい)、帽子(サンバイザー)を着用し、左胸に公式記録員のワッペンを付ける。 4) その他の季節は紺または緑の上衣、白シャツ、グレーのズボン(女性は黒でもよい)、帽子(サンバイザー)を着用し、左胸に公式記録員のワッペンを付ける。	135	(6) ① 7) 4)	公式記録員は、次の服装と用具を調えること 服装について ① 夏季は白シャツ(襟付き)、グレーのズボン(女性は黒でもよい)、帽子(サンバイザー)を着用する。 7)、左胸に公式記録員のワッペンを付ける。 4) その他の季節は紺または緑の上衣、白シャツ、グレーのズボン(女性は黒でもよい)、帽子(サンバイザー)を着用する。 7)、左胸に公式記録員のワッペンを付ける。
135	(7)	登録について 記録員は、公式記録員規程第6条により、毎年4月までに各支部長を通じて日本協会に登録すること。	135	(7)	登録について <u>公式</u> 記録員は、公式記録員規程第6条により、毎年4月までに各支部長を通じて日本協会に登録すること。
144	3. (1)	試合前に必要なこと 監督会議への出席 【前略】 記録員がこの監督会議へ【以後中略】 開会式前の記録員会議で、各記録員、補助員に【以後略】	144	3. (1)	試合前に必要なこと 監督会議への出席 【前略】 公式記録員がこの監督会議へ【以後中略】 開会式前の記録員会議で、各 <u>公式</u> 記録員、補助員に【以後略】